

【第3回】
増える
消化器感染症

奥田内科 

TEL045-830-6161

洋光台駅1分・シヨップ27 2階

okudanaika.com

感染性胃腸炎とは
胃・小腸・大腸に感
染症を生ずるもの
で、細菌、ウイルス
等により嘔吐、吐き
気、下痢、腹痛等の
消化器症状を引き起
す病気です。多く
は、食品や飲料水を
通して経口的に病原
体が入り、しばしば
集団感染することが
あります。

菌」では、古い鶏卵
に多いサルモネラ、
鶏肉に多いカンピ
ロバクター、魚類に
多い腸炎ビブリオ、
牛肉などに多い病原
性大腸菌等です。
もうひとつの原因
「ウイルス」では牡蠣
等でノロウイルス、
小児ではロタウイル
スがあり、汚物や便
から二次感染が多い
のが特徴。

原因のひとつ「細

治療として、細菌
感染症の場合は抗生
物質を投与します。
ウイルス性疾患の患
者さんには経口保水
等で水分を充分取り
脱水を防ぐことが必
要で、おかゆ等から
少しずつ食事を始め
ていきます。ま



元横浜市大副学長
元ハーバード大学助
教授 奥田内科院長
奥田研爾

たノロウイルス
の場合には、エ
タノール消毒は
効きません。